

## 【障がい者向けグループホーム（小金原エリア）見学】

11月30日 参加者 スタッフ4名、保護者1名

先日、相談室の近くに新しく障害者向けのグループホーム（GH）が開所されたとの案内がありました。親なき後いずれ自分の子も利用する可能性があると思い、ちょうど「今」息子さんのGHが必要で探されている保護者の方と一緒に、後学のため見学してきました。

部屋数の多い一戸建てを入居者向けにリフォーム中でしたが、どの部屋も広めで玄関の他に各部屋にも鍵がかけられるのでプライバシーが守られている感じがしました。GHは色々な人が集まってくるので、同居する他の利用者さんと関係も心配ですし、GHからの交通手段が本人の通勤に向いているかどうか悩みの種です。可能であればGHには親が元気なうちに入居し慣れさせて、いざという時に独りでも生きていける場所は必要です。これからも地道に探していこうと思いました。

## 今後の活動予定

### ☆就学・進路相談会（義務教育編）（進学編） 6月下旬～7月上旬

今年度は義務教育編と進学編を同日の午前と午後で開催予定です。

お申し込みの詳細は別紙、またはHPをご確認ください。

### ☆ライフサポートファイルを作ろう会&茶話会（茶話会はオンラインでの参加可）

5月10日（金） 6月10日（月） 7月10日（水）（8月以降はHP参照）

LSF 作ろう会 10時～ 要予約 参加費 100円

茶話会 11時～ 子育てで困っていることなどお話ししましょう。

お申込みはEmailからどうぞ。

### ☆ペアレントサポートワークショップ

9月～11月（全5回） 日程、詳細は、別紙、またはHPをご確認ください。

私たち **NPO 法人子ども子育て・発達支援研究会**は、障害や不登校、引きこもりなどで、地域生活に困難のある子ども・若者に対し、福祉、教育、療育の視点を持った支援を行うとともに、その健全な発達支援活動を地域住民や地域団体に普及させ、公益の増進に寄与することを目的として、活動しています！

発行者：NPO 法人子ども子育て・発達支援研究会 広報委員会

Add. …千葉県松戸市小金原 9-5-42 びーんず Labo

Email … kodomokosodate.matsudo@gmail.com

HP … <http://www.kodomokosodate-kenkyukai.org>



# Jelly Beans News

発行日 2024年4月30日

第12号



ジェリー・ビーンズはアメリカ生まれのポップなお菓子。箱を開けると、カラフルなお豆たちが飛び出します。ひとつひとつ違うから、キラキラ光ってきれいなんです。



## 代表挨拶

今年の桜は随分と遅くに満開を迎え、10日前後の入学式にピカピカの一年生を華やかに迎えてくれました。ちょうど19年前、わが家の末っ子（4月13日生まれ）が生まれた春もこんな感じだったのを思い出します。その子もこの春に高校を卒業し、わが家の子育ても卒業になった気がします。とはいえ、まだまだ未熟な若者、一緒に住んでいれば口も手も出してしまうかもしれませんが・・・

発達支援室びーんずも今年で8年目を迎え、スタート時は「児童」でしたが、18歳に到達し「成人」になった利用者も目立ってきています。出会った時はあんなに小さかったのに、いつの間にか背も追い抜かれ、学校を卒業し成人になっていく姿を見ると、こんなに長く我が子以外の子どもの成長発達に立ち会える仕事は、なんて幸せなんだろうと感じます。

子どもが学校を卒業し社会人として落ち着けば、次に心配になるのは「親亡き後」の生活です。そこで、昨年度当法人では、びーんず Labo の直ぐ近くにできたグループホームに見学に行きました。（詳細はレポートコラムをお読みください。）松戸市内や近隣では現在新規のグループホームがたくさんできています。それに伴い、私もグループホームのお試しや本入居のプランを立てるようになりました。実際にグループホーム探しから関わってみると色々勉強になります。家族なら自然に手を出していたこと、日常生活の中で確認したり声掛けしたりしていたことが全くりセットされてしまいます。そうすると、家ではできていたことができなくなったり、逆に「できない」と思っていたことができたり・・・「他人の飯を食う」ということわざがありますが、本当にその通りで色々な気づきがあり子ども親も大きく成長できる良い機会です。とは言え10年前初めて（前述とは別の）息子が家を出て行くときの私は、大きなリュックを背負って着なれないスーツを着て出て行く彼にスマホのシャッターを切りながら、不安がつり涙をポロポロこぼしました。「自分の手が届かない所で何かあったら？」という想いがこみあげて・・・

グループホームでなくても、新入学・入園でも同じかも知れませんね。抱っこやおんぶでいた子が手をつないで歩くようになり、手を放し一人で歩けるようになり、やがて家族とは違う人と長い時間を過ごすようになる時「自分の手が届かない所で何かあったら？」と思ってしまうのが自然な親心です。でも手を放して一人で歩けば自分の好きな所へ行けます。他人の飯を食べれば色々な気づきと学びがあります。子どもの成長とともに親も成長させられる春はそんな季節です。

NPO 法人子ども子育て・発達支援研究会

代表理事 富永 文子





### 【ライフサポートファイルを作ろう会&茶話会】

10/10、11/10、12/11、1/10、2/9、3/11 参加者延べ38名

毎月10日に「ライフサポートファイルを作ろう会&茶話会」を開催しています。未就学から中学生までの保護者が参加し、お子さんの成長を記録するファイルを作成しています。

茶話会では子育てに役立つヒントやアドバイスを得られる情報交換の場となっています。

この記事を書いている私も現在ファイル作成中です。子どもの将来のためのライフサポートファイルをコツコツ作っていきこうと思っています。

皆様と一緒にライフサポートファイルを作りませんか。来所とオンラインでの両方で受け付けております。皆様のご参加をお待ちしています。

### 【ペアレントサポートワークショップ】

9/19(火)、10/3(火)、10/17(火)、10/31(火)、11/4(火) 参加者7名

びーんず Labo に保護者が集まり、一緒に子どものことを考える連続講座ペアレントサポートワークショップ（千葉県発達障害者支援センターCAS 監修）を行い、お子さんが今できている「よい行動」をさらに伸ばし、新しい「良い行動」もできるようにするために、周囲の人にできる工夫を皆で考えました。来所ができない方はオンラインでも参加できるようにし、全5回それぞれが自分に合った、自分の子どもに合った関わり方を考えて実践することができました。

#### ～参加者の感想～

- ・イライラすることが多かったけれど、参加して子どもを見る視点が変わったことが良かったです。困ったことに対して「どうしよう」「どう直していこう」と思うことばかりだったのが、「いいところに目を向けてみよう」「困ったことにこそ何かいいヒントが隠されている」という新しい見方をするといいという気づきをもらいました。
- ・「新しい行動を引き出す」には、自分一人だとなかなかできないけれど、他の保護者の取り組みの工夫や頑張っている話をきいて、自分も背中を押されて取り組むことができました。



↑第4回の様子。CAS 東葛のスタッフの方がお越しくださいました。

- ・習慣にしてほしいことを伝えるのに今までも試行錯誤してきたつもりだったけど、表を作ったり毎日取り組んだり、ここまで丁寧にやったことはありませんでした。もしできなくても、〇日間やってみたという経験は親子共々残るので、成長した時に思い出して、気楽に続けていけたらいいなと思います。

### 【第11回まつど発達支援フェア】

2月25日(日) 参加者 会場 102名 オンライン 5デバイス

コロナ禍を乗り越え、久しぶりの対面での開催をしました。トークセッションのみをZOOMにて配信、当日会場にてたくさんの方にご参加いただきました。



今回の展示はICT（情報交換通信技術）について、障害のある人のための支援グッズとコミュニケーション支援機器・タブレット端末アプリ、読み書き障害向けのICT支援グッズなどの紹介をしました。



オープニングはオンラインでもずっと出演してくださっていたMIYUKIさんのエレクトーンと、しゅわにすと山口まち子さんの手話のパフォーマンスからスタートしました♪

生演奏は素晴らしいかったです！



フラダンスは色鮮やかなパフォーマンスで会場が盛り上がりました。心地よい時間を過ごすことができました。



「松戸キャラバン隊たねっこ」の知的・発達障害の疑似体験ワークショップでは、観客も体験することで困難や課題に直面することができました。

ビニール手袋をつけて紙花を開く体験では指が滑り、なかなかうまく開くことができませんでした。



トークセッションでは、読み書き障害の保護者の体験談や支援者からの日常の困りごとや、配慮をどのようにして求めるかについてお話いただきました。



#### ～参加者感想～

- ・伝わりにくい障害の理解やみんなが生活しやすくなるようなツールがあり、障害を持つ人・親・支援者が理解し合える内容だったと思う。(保護者)
- ・子どもが遊べるコーナーがあり助かりました。疑似体験ワークショップは思いのほか楽しかったです。(保護者)
- ・やっぱりリアルな人との出会いは最高でした。手話歌に興味もあったので一緒に手話歌が出来て良かったです。(支援者)
- ・久しぶりの会場での開催ですごく楽しかったです。(保護者)

#### カプラコーナー



#### 遊び場

